

大分県別府市「湯の街別府ユニバーサルデザイン委員会」

～ユニバーサルな旅館を目指した

旅館組合の取組み～

大分県別府市の旅館組合では、これからの高齢者や障害者の旅行増加を想定し、別府市の旅館をユニバーサルデザイン対応にするべく、モニターツアーや月1回の意見交換会など様々な活動を行っています。

「湯の街別府ユニバーサルデザイン委員会」の主な取組み

・主な取組み

今後の高齢者・障害者の旅行者の増加を想定し、今後の別府温泉全体の宿泊施設をだれもが「気持ちよく宿泊して頂ける街づくり」を目指して様々な活動を行っています。

<委員会の取組み>

会員施設	全28会員 平成16年1月現在 (旅館・ホテル関係17施設, その他県・市の観光行政担当者, 福祉関係者(理学療法士等)等で構成)
主な活動	毎月1回の会合 平成13年7月の第1回をスタートに, 旅館ホテル並びに福祉施設の見学を始めとした会合を実施。 モニターツアーの実施 体の不自由な方を対象に宿泊してもらい, 施設等の利用のしやすさ等のアンケートに答えてもらう。これまで3回実施。 ホームページの開設 モニターツアー情報, 各施設の整備事例を掲載。別府ナビにもリンクし県内外へ情報を発信 【HPアドレス】: http://www.jp114.com/026/

・モニターツアーの概要

実際に体の不自由な方に別府市の旅館ホテルを利用していただき, その感想から施設の改善点を見つけだすことを目的にモニターツアーを開催しています(これまでに3回開催。51組160名が参加)。参加者からは好評で, 参加後に次回の開催をたずねられる方もいます。

なおアンケートでは, 「段差」「手すり」「スペース」に関する指摘が多く挙げられています。

<モニターツアーの概要>

	第1回	第2回	第3回
期間	H14.7.1~7.18 (約14日間)	H15.2.1~3.20 (約50日間)	H15.7.21~8.31 (約40日間)
参画施設	9施設	12施設	10施設
募集人員	1施設につき3組まで の全27組	1施設につき10組まで の全120組	制限なし
対象者	車いす・杖使用者, 高齢者	身体に障害のある 全ての方	第1,2回の対象者, 障害のある子供の家族
参加者	15組30名	30組110名	6組20名

旅行代金は特別料金と設定しています。

・関係者からの一言

「全ての人に対応できる旅館施設にすることは困難。施設が完璧でなければソフト対応(介助等)でカバーできればよい。」「湯の街別府ユニバーサルデザイン委員会での取組みを継続し、少しずつ改善をしていくことが最も重要。」と湯の街別府ユニバーサルデザイン特別委員会事務局の富来さん。



「NPO法人 自立支援センターおおいた」

「NPO 法人自立支援センターおおいた」では、障害者等の介助・介護サービスや、バリアフリーのまちづくりの提案など、障害を持つ方でも自由に生活するために様々な活動を行っています。

「同じ車いす利用者でもそれぞれ必要な幅や使い勝手は異なる。多少手間と時間がかかってもあらゆる障害者の意見を取り入れて設計、建築、改修をしていくべき」「障害者は不可能な要求はしない。小さなことでもよいから障害者等の声を反映できる仕組みが必要」と、NPO 法人自立支援センターおおいた理事長の米倉さん。

米倉さんは湯の街別府ユニバーサルデザイン委員会の委員であり、当会のホームページも作成しています。

【NPO 法人自立支援センターおおいた HP アドレス】: <http://www.jp999.com/333/>



【連絡先等】

問い合わせ先) 湯の街別府ユニバーサルデザイン委員会事務局

所在地) 〒874-0943 大分県別府市楠町17-5

TEL) 0977-22-0401 FAX) 0977-22-0417